

2015.11.22

Noism 対談企画「柳都会」第十四回 吉原悠博×金森穰

「今、ここ新潟で話を聞いてみたい方」をゲストに迎え、Noism 芸術監督・金森穰との対談を行うシリーズ企画「柳都会(りゅうとかい)」。14回目のゲストは、吉原悠博さんをお迎えします。絵画を学んだ後、東京とニューヨークを拠点に活躍し、それまでの美術の枠組みを超えた先端的なメディア・アーティストとして脚光を浴びた吉原さん。現在は郷里である新潟県新発田市に活動の拠点を移し、新潟でも指折りの長い歴史を持つ「吉原写真館」の6代目館主を務めるとともに、自らのルーツや新潟の風土・史実に基づいた映像作品を多数発表しております。そんな吉原さんと共に、新潟の芸術文化事情とその課題・可能性等について話し合うことで、新潟という地域、そして「劇場」「写真館」という場所について様々な角度から議論を深められればと思います。



吉原悠博 Yukihiro Yoshihara

1960年新潟県新発田市生まれ。140年の歴史を持つ新発田市「吉原写真館」館主。新潟大学非常勤講師。敬和学園大学非常勤講師。東京藝術大学油絵科卒業。在学中、ニューヨークのアートスクールPratt Instituteへ留学。1981～2004年まで、東京とニューヨークを中心に活動。新しいテクノロジーと絵画の融合、音楽家とのコラボレーションなど、それまでの美術のフレームを超えるダイナミックな作品を制作。また、パブリックアートとしてホテル、公共施設での作品設置、アートディレクションを務める。現在は、故郷である新潟県新発田市に活動の拠点を移し、新潟の史実などを題材とした映像作品を多数発表し続けている。最近では、新川史眼、シビタ、培養都市の新潟をテーマにした映像作品の評価が高い。

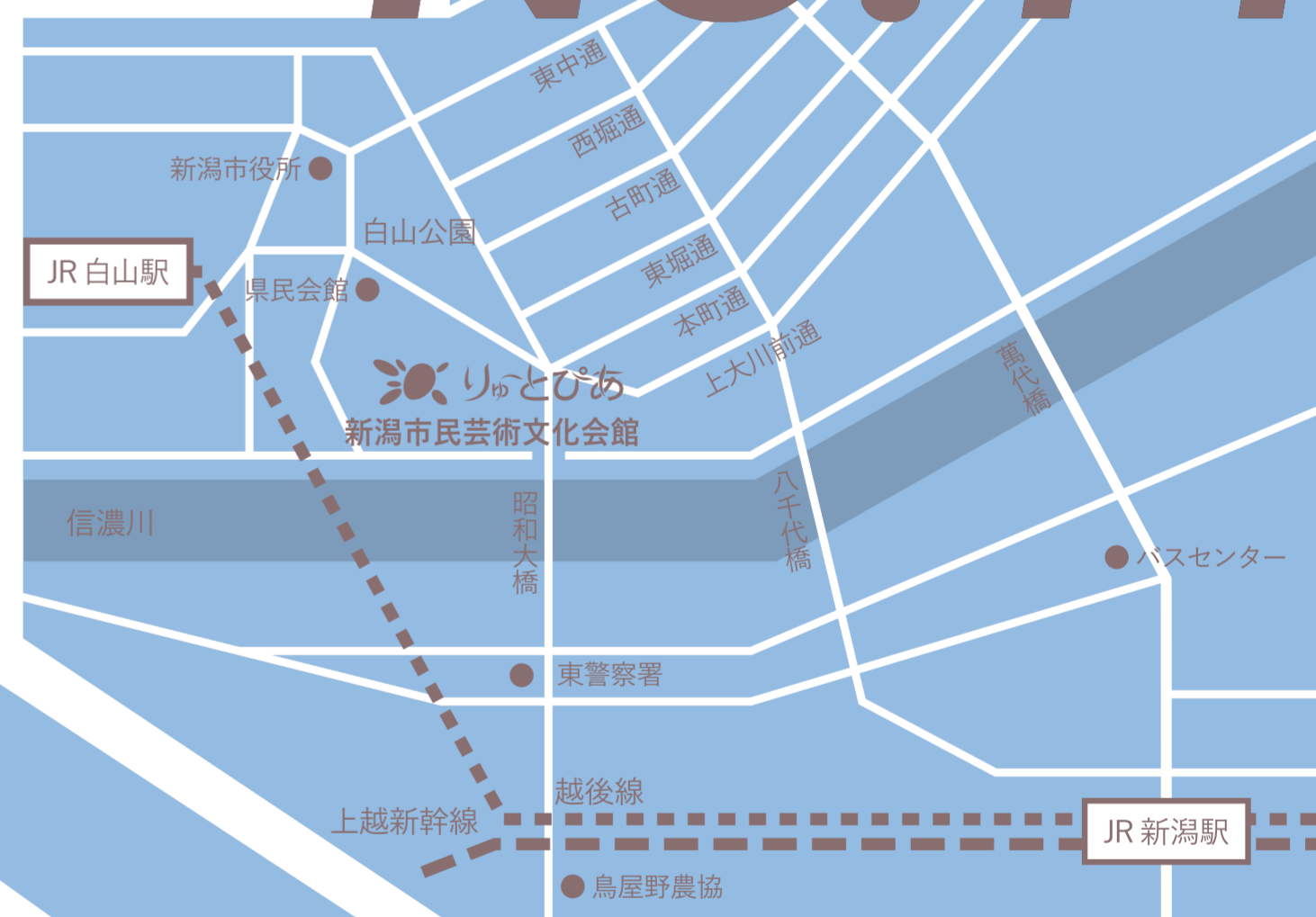
金森穰 Jo Kanamori www.jokanamori.com

演出振付家、舞踊家。りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 舞踊部門芸術監督/Noism 芸術監督。17歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。イリ・キリアンにその才能を認められ20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で舞踊家/演出振付家として活躍したのち帰国。2004年4月、りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団Noismを立ち上げる。近年ではサイトウ・キネン・フェスティバル松本での小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。2014年6月より新潟市文化創造アドバイザーに就任。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。

Photo: Kishin Shinoyama



No.14



会場 ■ りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館〈スタジオ B〉

日時 ■ 2015年11月22日(日) 16:30～18:00

ゲスト ■ 吉原悠博(美術家)

参加費 ■ 無料(要予約)

定員 ■ 80名

申込方法 ■ メール、Faxまたは往復ハガキに

①氏名(ふりがな) ②郵便番号 ③住所 ④Tel/Fax ⑤メールアドレスを明記のうえ、

下記までお申し込みください。 *申込締切:2015年11月19日(木) 必着

*定員になり次第締め切らせていただきます。 *お申込みいただいた方には、折り返し

確認のご連絡を差しあげます。 *当日は受付にてお名前をお伝えください。

お問い合わせ ■ りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 Noism「柳都会」係

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2

Tel: 025-224-7000 Fax: 025-224-5626 Email: info-noism@ryutopia.or.jp

主催:公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団

製作:りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館

交通案内 ■ JR越後線白山駅より徒歩15分
●新潟駅万代口より車で15分 ●関越自動車道/磐越自動車道新潟中央I.C.より車で20分 ●新潟駅万代口よりバスで15～20分、萬代橋ライン(BRT) 青山方面行「市役所前」下車徒歩5分

【白山公園駐車場のご案内】
白山公園駐車場 A.B.C.D あわせて約600台
※身障者用駐車スペースを用意しております。
※りゅーとびあには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。
白山公園駐車場(30分100円)をご利用いただけますが、混雑する場合がありますので予めご了承ください。

[私たちはNoismの活動を応援しています]

SHISEIDO Chacott Araebisu.jp

jamrucrew Inc. stage P

はらだ歯科医院 Noism サポート